

雪の動物園を満喫！ おすすめコースマップ

寒冷地の動物園ならではの景色を
じっくり満喫したい方におすすめ！

CHECK!

動物の解説看板を見ると、その動物の
特徴や、野生での生態、環境問題など
様々なことを知ることができます。
動物の姿だけでなく、解説看板にも
注目してみましょう。

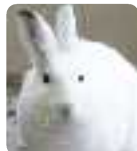


ゾウの解説看板



CHECK!

雪の動物園の見どころはたくさんあります。
アムールトラやエゾユキウサギなど、寒冷地に
生息する動物は冬の方が活発な姿が見られます。
色々な動物を観察してみてください。



エゾユキウサギ



シロフクロウ



アムールトラ

寄り道スポット

暖かいのは虫類・両生類館で美しい動物
たちをじっくり観察しませんか？
冬眠中の動物が多く、細部までじっくり
観察することができます。



屋内で
観覧できます



休憩所が
あります

ここが見どころ！

★ シマフクロウ

日本最大のフクロウであるシマフクロウ。
北海道内に約165羽しか生息していない
といわれています。円山動物園で初めて
繁殖に成功した個体が展示されています。



★ エゾタヌキ

野生では北海道の寒い冬を越すために秋
に皮下脂肪を貯め、冬ごもりをします。
冬ごもり直前の体重は夏と比べると1.5
倍にもなります。



★ ニホンザル

海外ではスノーモンキーと呼ばれること
もあり、ヒトを除くサルの中から最北
に生息しています。寄り添い合って暖を
取る姿はサル団子と呼ばれています。



★ ホッキョクグマ

泳いでいたらラッキー！プールに張った
氷を割って泳ぐ姿は迫力があります。
陸上では、ごろごろ転がって体の水切り
をする様子が見られるかもしれません。



★ シセンレッサーパンダ

冬はレッサーパンダの繁殖期。小鳥のよ
うな高い鳴き声を聞くチャンスです！
高山に生息するため寒さに強く、活発に
活動する姿を観察できます。



★ ユキヒョウ

寒冷な高山地帯に生息するユキヒョウは
夏より冬の方が活動的です。
冬から春にかけての繁殖期には「アーオ」
とネコのような野太い声でなき合います。

